なぎさ便り

人を尊び
命を尊び
個を敬愛す

ふれあいグループ

第64号

新年のご挨拶

施設長　林　直諒

新年明けましておめでとうございます。

昨年の世界の状況は、人間の本性の中の凶暴性が際立った年であったと思います。この勢いがさらに進行すると、人類が滅びる可能性もあるのではないかと心配になります。

ギリシャ神話で、主神ゼウスが、パンドラ〈人間〉に人間のあらゆる災いが詰まった箱を渡しました。パンドラは地球に到着した好奇心からその箱を開けた時、全ての災いが飛び出しましたが、あわてて箱を閉じたため、箱には希望だけが残ったといいます。この話は、現在の世界情勢にきわめて類似しています。

いま世界上の覆っている破壊的暗雲は、我欲が肥大し、自分のことしか考えず、自分の感覚、自分中心の価値観に基づいた原理に従って行動するという傾向が強くなっているからと思われます。

災いを地球全体に広げないためには、他人の自分と異なる考え方、感じ方、信念すらも理解し、自ら取り込んでいく大きな心を育てることが必要と思われます。

★クリスマス会２０１７【３階】★

２人のサンタさんが渚にやってきました。短い時間でしたが、入居者皆様にクリスマスプレゼントやクリスマスソングのメドレーも歌ってくれました。

突然の訪問に入居者の皆様も「サンタさんって本当にいるんだね。」としばらく話で盛り上がってました。

★クリスマス会２０１７【４階】★

今年のクリスマス会は、クリスマスプレゼントの抽選会をはじめ、音楽クラブを行っている利用者様の歌と、職員のダンスやギターの弾き語りを行い、最後にお茶会でコーヒーを飲みながらゆっくりと会話を楽しみました。

職員と利用者様が一丸となって作る行事は満足感がひとしおですね♪

★Happyハロウィン★

今年も渚ではハロウィンが行われました！
職員も利用者様もみんなで色んな仮装をしましたよ！

誰が一番怖くなれたかな？

★看護課より★

昨年は十月と十一月に湘南医療大学看護学部3年生12名、十二月に茅ヶ崎看護専門学校2年生12名の看護実習生の受け入れを行いました。

どの実習生もはじめは緊張していましたが、徐々に緊張もほぐれ利用者様と楽しそうに会話できるようになり、利用者様への日常生活の援助や安全への配慮について学ぶことができました。

看護学校の実習生は、実習最終日に利用者様に合わせたレクリエーションを一生懸命考え、通所では風船バトミントン、認知棟では歌のレクリエーションを行いました。利用者様が楽しんでくださる様子や終了後の利用者様からの優しい言葉に感激し、涙ぐむ学生もいました。

ふれあいの渚での実習期間は一週間に満たない短いものですが、実習生たちは高齢の方々への看護についてたくさんのことを学んでいます。

ご迷惑おかけすることもあるかもしれませんが、来年以降もご協力頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

編集後記

皆様にとってご多幸な一年となりますようお祈り申し上げます。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。